

9月議会が閉会 (10月9日)

市営住宅 模様替の原状回復義務の免除が拡大
浴室の一枚扉を折り戸への改修などに適用

10月9日に閉会した9月定例会では、補正予算案や教育委員選任案など29議案提案された前半では一般会計補正予算案と総合計画2023案の2議案に反対、27議案に賛成しました。決算認定案が審議された後半では19会計のうち一般会計など9会計に反対、10会計に賛成しました。

浴室扉を介護しやすいよう1枚扉から折り戸にすると退去時に「元に戻せ」と

9月議会では市営住宅条例の改正が行われ、室内の段差解消や手すりの設置などの模様替をすると、退去時に自費で撤去しなければならないという原状回復義務がありました。この原状回復義務の免除が拡大されました。この問題は田口議員も委員会などで繰り返し改善を求めてきたものです。

市営住宅の原状回復が免除される主な模様替

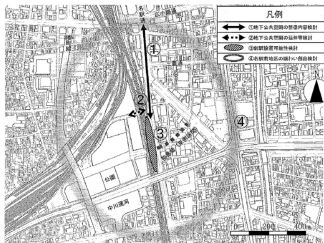
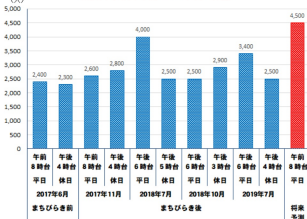
対象となる模様替	具体例
・介護保険の住宅改修費で実施	・手すりの設置 ・室内段差の解消 ・扉の変更 等
・障害者住宅改造補助金で実施	・手すりの設置 ・室内段差の解消 ・入浴リフトの設置 等
・入居者の身体状況等に応じた改善と認められる模様替	・手すりの設置 ・玄関ドアノブのレバーハンドルへの変更 ・和式便器の洋式化 等

一方ささしまへの巨大地下通路は、需要も予想より下回り、歩道拡幅を先行するよう求めました。

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査費

内容	金額
①地下公共空間の整備内容検討	9月補正
②地下公共空間の延伸等検討	1,500万円
③新駅設置可能性検討	
④名駅南地区の賑わい創出検討	

下広井町交差点のピーク時の1時間歩行者数 (概数・人) (将来予測2011年9月に算出)



2019年9月議会の主な議案と態度 (○=賛成 △=修正 ●=反対)

議案名	共	自	民	減
一般会計補正予算 (巨大地下通路などを推進)	●	○	○	○
基金と公債の特別会計補正予算 (災害対策事業)	○	○	○	○
市営住宅条例など18条例改正案 (法改正関連など)	○	○	○	○
工事契約 (守山養護学校増築) など5案件	○	○	○	○
総合計画2023の策定	●	△	△	△
教育委員 (2人) の選任	○	○	○	○
2018年度の一般会計や介護保険など9会計の決算	●	○	○	○
2018年度の病院事業など10会計の決算	○	○	○	○
議員派遣 (ロサンゼルス市公式代表団) 議長と各派団長 (共・減を除く)。10月22日~28日。ロサンゼルス以外にサンフランシスコ市、サンタクララを訪問、調査。	○	○	○	○



意見書案に対する各会派の態度 2019年9月26日 議会運営委員会理事会

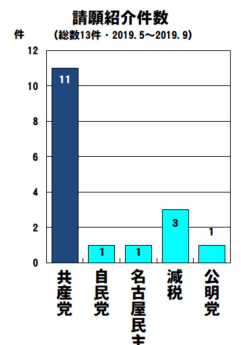
件名	各会派の態度				結果
	共	自	民	減	
あおり運転等の悪質・危険な運転に対する法整備等を求める意見書 (案)	○	◎	○	○	可決
プラスチックごみの削減に向けた対策の強化を求める意見書 (案)	○	◎	○	○	可決
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書 (案)	※	○	◎	○	可決
悪質なあおり運転の根絶に向けた対策の強化を求める意見書 (案)	-	-	-	◎	他案との一体可決
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書 (案)	○	○	○	◎	可決
太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書 (案)	○	○	○	◎	可決
プラスチックごみに対する抜本的な対策の強化を求める意見書 (案)	◎	-	-	-	他案との一体可決
最低賃金の地域間格差解消とさらなる引き上げを求める意見書 (案)	◎	●	○	●	否決
選択的夫婦別姓制度に関する意見書 (案)	◎	●	●	●	否決

◎=原案提出 ○=賛成 ●=反対 ※=修正で賛成。共:日本共産党 自:自民党 民:名古屋民主 減:減税日本ナゴヤ 公:公明党。

は、自民案と一本化されて可決されました。

請願9件を受理

9月議会に提出された請願は3件、陳情は8件でした。日本共産党は道路建設促進の請願を除く2件の請願の紹介議員となりました。請願・陳情の審査は、9月議会が閉会してから、11月議会が始まるまでの間に閉会中の委員会審査として行われます。



共産提案1件含め 意見書5件可決

意見書案は各会派から9件が提案され、各会派で意見調整を行い、議会運営委員会理事会で5件の意見書を議決することになりました。

日本共産党提案の2件の意見書案のうち「プラスチックごみに対する抜本的な対策の強化を求める意見書 (案)」